

山形県小・中学校

特別支援教育研究会 会報



第13号

発行日
令和5年2月

発行者
山形県小・中学校
特別支援教育研究会
会長 佐藤 昌彦

印刷所
株式会社 小松印刷所

ごあいさつ

山形県小・中学校特別支援教育研究会 会長 佐藤 昌彦
(山形市立第三小学校長)

インクルーシブ教育について報道等でも盛んに取り上げられたことに加え、文部科学省より、通常の学級に在籍する小中学生の8.8%に発達障害の可能性があるという調査結果が公表されました。今まさに、特別支援教育に対する社会的な関心が高まっています。更に、教育の個別最適な学びとして、支援の必要な子供に、教師が、より重点的に関わることで効果的な指導を実現するとして「指導の個別化」への取り組みも急務となっています。

こうした様々なニーズに応える中で、学校現場における特別支援教育の解釈は、障がいのある子への個別の支援から、個に応じた支援へと広がり、子ども一人一人の特性や能力に応じた教育の基礎としてとらえられるようになってきています。その一例をあげるとすれば、これまでの児童理解の手立ては教師の見取りとその解釈が中心でした。しかし、より適正に児童の特性をとらえる手段として、特別支援教育のアセスメントシートや発達検査などが、注目され用いられるようになってきたことがあります。

こうした特別支援教育に対するニーズの高まりの表れとして、通常学級の担任もWISCやK-ABCといった検査やコンサータやインチュニブといった薬の名前まで知っているのが普通になってきています。しかし、まだ対蹠的な手立てとして特別支援教育に触れるだけで、その本質や理念を学ぶには至らず、個を理解し、適切に支援することにつながらない事例も散見されます。特別支援教育が教育全体を支える太い柱となっていく、今がまさに序章のように思われます。

診断名が付くと、これは教育ではなく医療の問題だと、手を引く教員が話題となった一昔前から見れば、大きく改善が進み発達障害への対応は教育においても大きな命題としてとらえられるようになりました。ここから更に先に進むには、計画的な人事交流を取り入れるなどして、単なる情報交換に閉じることなく、確かな学び合いへと歩を進める必要があると考えます。本研究会が、通常学級と特別支援学級、そして特別支援学校とのパイプづくりに貢献し、時代のニーズに応えられる人材育成の一助となることを切に願っています。

Student ART

生徒作品

山形市立第十中学校 若草学級



・ランチョンマットとお弁当
・マグネット
・木箱
・ミサンガ

令和4年度 会務報告

- 山形県小・中学校特別支援教育研究会
県委員会 8月4日（山形市総合学習センター）
幹事会 6月、12月、2月
- 山形県小・中学校特別支援教育研究会会報
第13号 編集・発行
- 東北特別支援教育研究会
理事会 参加（秋田市） 11月11日
幹事会（メールによる） 8月、2月
- 第61回全日本特別支援教育研究連盟全国大会秋田大会
第60回東北特別支援教育研究大会秋田大会
(誌上開催)
話題提供 【特別支援学級における教科指導】 分科会
「教科の特性を生かし障害に応じた指導の在り方」
～「分かる」と実感する算数の学習のために～
村山市立楯岡小学校 井澤 貢 教諭

各地区の活動

地区	会員数	今年度の活動の概要(主な研修内容など)
米 沢	76	米沢市小・中学校特別支援教育研究部会 5月 総会 年間事業計画・予算検討、各種別年間計画 8月 研修会 市特別支援教育部会小中合同研修会（新型コロナウイルス感染防止のため中止） 演題「高等学校における通級指導について」 講師 山形県立米沢工業高等学校 通級指導担当 藤原 一彦 教諭 小中校区ごとの情報交換 1月 総会・講演会 年間事業報告・決算、各種別から今年度の年間活動報告 講演会「進路指導と高等部までに育てたいこと」 講師 山形県立米沢養護学校 山吉 泰 校長 研究集録 第38集発行（部員全員一研究（指導事例、授業実践等））
東 置 賜	53	東置賜地区特別支援教育研究会 6月 合同学習会（川西町） 川西町体育館にて顔合わせ会（小） 合同学習会（高島町） 高島町体育館にて顔合わせ会（小中合同） 9月 交流学習会（南陽市） 飯豊少年自然の家にて自然体験活動（小中合同） 合同学習会（高島町） 飯豊町「源流の森」にて自然体験活動（小中合同） 10月 合同学習会（川西町） 飯豊少年自然の家での自然体験活動（小中合同） 11月 研 修 会（南陽市） 演 題「特別支援教育における授業や教材・教具の工夫」 講師 山形県立米沢養護学校 佐東 ひかり 教諭 12月 研 修 会（川西町） 演 題「KABC-II 検査について」 講師 川西町立川西中学校 佐貝 賀子 教諭 1月 合同学習会（川西町） 小松小にて「卒業・進級を祝う会」（小） 2月 卒業祝賀会（南陽市） 赤湯小にて祝賀式・祝賀会・会食（餅）（小中合同）
西 置 賜	64	西置賜地区現職教育協議会 特別支援教育専門部会 5月 全体総会 組織づくり 研修テーマの確認 年間活動計画・予算検討 6月 授業研究会 知的障がい特別支援学級自立活動（ビデオ視聴） 授業者 飯豊町立第二小学校 佐竹 容子 教諭 助言者 山形県立米沢養護学校校長井校 佐藤 則昭 教諭 8月 研 修 会 特別支援学級経営、教育課程等に関する研修会（中止） 講師 長井市教育委員会指導主査 黒澤 美紀 氏 10月 まつかぜ荘交流会（中止） 指導事例研修会 実践事例Ⅰ 算数「分数」（動画視聴） 授業者 白鷹町立鮎貝小学校 鈴木 博之 教諭 高橋 純子 教諭 長沼 道 講師 助言者 公認心理師 酒井 枝里子 氏 実践事例Ⅱ 通級指導教室 構音指導（動画視聴） 授業者 長井市立長井小学校 佐藤 淳子 教諭 1月 指導事例集作成 第45号発行
上 山	31	上山市小中学校教育研究会 特別支援教育部会 4月 年間計画 6月 実技研修（上山小学校アリーナ）「発達障害のある児童・生徒も楽しめるスポーツ『モルック』を体験しよう」 講師 山形県モルック協会理事 梁 秀蘭 氏 7月 施設訪問 社会福祉法人「山形県コロニー協会」（山形市桜田南1-19） ・就労サポートセンター ・山形福祉工場（コロニー印刷） ・山形コロニーセンター 11月 講 話「発達障害のある児童生徒の心と行動、対応について理解を深める」（中止） 講師 やまがた法務少年支援センター長 内山 博之 氏
山 形	110 (小) 78 (中)	山形市小学校教育研究会 特別支援教育部会 5月 総会（紙上開催） 事業報告、決算・監査報告、事業計画案、予算案 6月 講 話 「学校における合理的配慮について」 講師 村山教育事務所指導主事 伊藤 与奈 氏 情報交換 各校の「個別的教育支援計画・個別の指導計画」について 8月 施設見学 山形市南部児童遊戯施設 シェルターインクルーシブプレイス 「コパル」 案内・解説 コパル館長 色部 正俊 氏 9月 研修会 「特別支援の扉」、「コグトレ」について 講師 東京書籍東北支社 浅野 進二 氏（教育用品様のご協力により「コグトレ」を体験） 11月 講 演 「音楽として成立する音楽活動を ～特別支援教育におけるリズム活動と音楽づくり（即興）指導方法の提案～」 講師 認定特定非営利活動法人 アジェンダやまがた 代表理事 児玉千賀子 氏 1月 研修会 「事例を通して支援について学ぶ」 情報交換会 当番校の事例紹介・情報交換 山形市中学校教育研究会特別支援教育部会 5月 総会 前年度事業報告、決算承認、組織決定、本年度の事業計画検討 （各校代表幹事が参加・実施） 8月 研修会 演 題「自立活動の指導について」 講師 山形大学附属特別支援学校 小学部主事 志鎌 和弘 教諭 11月 研 修 なかよし作品展への出品協力（中止） 中学校特別支援学級・学校交歓会（中止） 1月 代表者会議 今年度の反省のまとめ、来年度の事業計画の検討等（各校代表幹事が参加・実施）



地区	会員数	今年度の活動の概要(主な研修内容など)
天童・東村山	69	東村山地区小中学校教育研究会 特別支援教育部会 5月 総会(リモート開催) 研究部役員選出、年間事業計画 6月 研修会 講話「就労に向けて必要な力とその支援～小・中・高で付けたい力～」 講師 山形県立上山高等養護学校 武田 和久 教諭 8月 講演(紙上開催) 「児童思春期デイクア『エスカリエ』について」 講師 社会医療法人公徳会若宮病院精神保健福祉士 佐藤 孝憲 氏 同 作業療法士 武田 奈々 氏 11月 研修会・講話1「霞城学園高等学校定時制の特別支援教育について」 講師 山形県立霞城学園高等学校 向 理子 教諭 ・講話2「個を大切に、個が伸びる支援・指導について」 講師 元天童市立天童中部小学校教諭 奥山千鶴子 氏 ・情報交換会
西村山	73	西村山学校教育研究会 特別支援教育部会 5月 総会(メールにて) 役員の確認、本年度の事業計画、研修会に向けてのアンケート 11月 講演会 演題「障害がある者の就労と支援について」 講師 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部 所長 香月 敬 氏
北村山	95	北村山地区小中学校教育研究会 特別支援教育部会 4月 研修会 令和4年度特別支援学級新担任者研修会 5月 紙上報告 令和3年度活動報告・令和4年度活動計画 11月 研修会 講演「楯岡特別支援学校での学びと卒業後の進路について」 講師 山形県立楯岡特別支援学校 丹 美和子 教諭
最上	76	最上地区教育研究会 特別支援教育部会 6月 総会 第1回地区特別支援教育研修会(総会)紙上開催 8月 講演会 第2回地区特別支援教育研修会 演題「将来に向けた進路指導について」 講師 山形県立新庄養護学校 沓澤 真由美 教諭 9月 交流会 地区交歓合同学習会「ふれあい広場」 2月 研究収録「わたち」57号 発行
田川	75	田川学研 特別支援教育部 5月 交流会 「第1回わんぱくタイム トランポリン活動」(庄内町) 6月 交流会 「第2回わんぱくタイム トランポリン活動」(庄内町) 7月 研修会 鶴岡市特別支援教育研修会 講義「高等学校における特別支援教育について～昼間定時制・通級指導教室での実践～」 講師 山形県立庄内総合高等学校 大隅 晃弘 教諭 8月 研修会 令和4年度山形県小・中特別支援教育研究会(兼) 山形県情緒障がい研究会庄内ブロック特別支援教育研修会 演題「共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進」 講師 宮城学院女子大学教育学部教育学科教授 梅田 真理 氏 交流会 庄内町特別支援学級「夏まつり」(コロナ禍で各校開催) 9月 交流会 「第3回わんぱくタイム トランポリン活動」(庄内町) 授業研・研修会 鶴岡市特別支援教育研究会・研修会 単元名「たしざんかな?ひきざんかな?」(算数) (知的学級) 授業者 鶴岡市立朝陽第三小学校 井上 歩美 教諭 単元名「みのりすごろくをしよう」(自立活動) (自閉・情緒学級) 授業者 鶴岡市立朝陽第三小学校 佐藤 博美 講師 単元名「思い出をみんなに紹介しよう」(自立活動) (自閉・情緒学級) 授業者 鶴岡市立朝陽第三小学校 板垣 紘介 教諭 長島与糸子 教諭 10月 交流会 「なかよし交流会」(三川町) アスレなの花にて自己紹介カード交換とゲーム 交流会 「第4回わんぱくタイム トランポリン活動」(庄内町) 11月 交流会 「第5回わんぱくタイム トランポリン活動」(庄内町) (コロナ禍で中止) 交流会 「第6回わんぱくタイム トランポリン活動」(庄内町) (コロナ禍で縮小開催) 1月 交流会 「雪遊びの会」(庄内町) ・羽黒山スキー場でスキー、そりすべり 2月 交流会 卒業・進級を祝う会(庄内町) ※鶴岡市はブロックごとに開催。
飽海	44	飽海地区教育研究会 特別支援教育研究部 5月 研究部会 研究主題、事業計画等について 8月 研修会 県小・中特別支援教育研究会(兼) 県情緒障がい研究協議会庄内ブロック研修会 演題「共に学び、共に育つ教育を目指す特別支援教育の推進」 講師 宮城学院女子大学教育学部教育学科 教授 梅田 真理 氏

三部会の活動

知的障がい教育部会

(山形県知的障がい教育研究会)

研究主題

「一人一人の個性を伸ばし、
生きる力を育てる支援の在り方」

- 山形県特別支援教育研究会を発展的に一元化するに伴い、今年度新たな活動は実施しておりません。これまで多大なご協力をいただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。

情緒障がい教育部会

(山形県情緒障がい教育研究会)

研究主題

「人とのかかわる力を育む指導のあり方は
どうあればよいか」

～一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と
支援のあり方を求めて～

■ 総 会

会員校に資料を送付し、書面にて決議を行った。

■ 全体研修 演題「アファンタジアとASD～心的イメージの個人差からみたASD～」

講師 山形大学地域教育文化学部地域教育学科 大村 一史 教授

※オンラインに切り替えて研修を行った。

■ 地区研修 村山、最北、置賜、庄内の各ブロックにて計画

言語障がい教育部会

(山形県言語障がい児教育研究会)

研究テーマ

「子どもをみつめ、ことばと心を
育むための指導はどうあればよいか」

■ 教室代表者会・研修会

① 5月 設置校長会並びに第1回教室代表者会

令和3年度事業・決算 令和4年度役員選出、事業計画、会計予算

② 8月 研究協議会(オンライン開催)

演題 「発達障害のある子どもの学びにくさを理解し支援する」

講師 宮城教育大学教職大学院 教授 植木田 潤 氏

③ 10月 研修(言語通級指導教室担当教員基礎研修 県センター主催)

演題 「子どもの理解と指導・教室担当者の役割」

「吃音への対応、自己肯定感への支援」

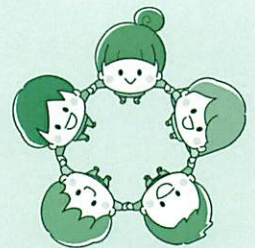
国立特別支援教育総合研究所 研究企画部 部長 牧野 泰美 氏

第2回教室代表者会 研究協議会の反省、今後の県言研のあり方について

④ 2月 ブロック代表者会 令和4年度事業反省、次年度の方向性

■ 各ブロック研修会 東南村山、西村山、最北、置賜、庄内の各ブロックにて開催

■ 発 行 物 「研究集録 第47集」 発行予定



令和4年度 全日本特別支援教育研究連盟 功労者表彰

前 山形市立第三中学校教諭 後藤 勝美 氏

平成5年以来特別支援学校・特別支援学級の担任として、生徒一人一人の可能性を伸ばす支援のあり方を追求し、優れた実践を重ね、後進の育成にも尽力されました。さらに、長年山形県知的障がい教育研究会の事務局長として、また、山形県小・中学校特別支援教育研究会事務局幹事として、本県特別支援教育の充実・発展に貢献されたことに対し表彰されました。おめでとうございます。

事務局より

山形県小・中学校特別支援教育研究会は、これまで各市町村教育研究会特別支援教育部会と県知研・県情研・県言研の三部会を取りまとめる形をとってきました。

しかし、県知研・県情研・県言研は今年度末で発展解消し県特研に1本化する形となりました。来年度からは、各市町村教育研究会特別支援教育部会を統括する組織として再スタートします。組織や規約も変わりますが、来年夏の県委員会で決定したのち、各校にメール等でお知らせしたいと思います。

今年度もコロナ禍が収まらない中、各地区で工夫を凝らしながら研修を深めていただき、ありがとうございました。